

祈りと懺悔の期節 本日、大斎節第5主日は、首座主教会議の特別委員会の呼びかけにより、アングリカン・コミュニオンにおける祈りと悔い改めの期間として設定された主日です。この祈りは、特別委員会のメンバーである西マレーシア教区主教ムーン・ヒン師が作成し、特別委員会からアングリカン・コミュニオンに対して、本日用いるよう提案するものです。

全能の神、全世界を治められるすべての人の造り主、主イエス・キリストの父よ、わたしたちは、あなたへの忠実さを欠き、罪の生活を送ってきたことを、まことに悔やみます。わたしたちは、ゴルゴタの十字架上の主イエス・キリストの尊い血のみが赦しを与えることを、まことに信じ、告白します。

わたしたちは、懺悔します。

- ・ 思いと言葉と行いによって、あなたと隣り人に対して重い罪を犯したこと、
 - ・ 怠り、絶望、権力を求める心によって、社会に憎しみと分裂と痛みを引き起こしたこと、
 - ・ 貧欲と偽りと無関心によって、わたしたちの兄弟姉妹である難民や移住者に、深刻な損害と無用の争いをもたらし、破壊の力を増し加えたこと、
 - ・ 利己的で、思いやりを欠き、偏見を持った心によって、わたしたちの愛する人々と家族に、傷、痛み、悲しみを与える人々をのさばらせ、思うままにさせたこと、
 - ・ 宗教と教えの名によって、そしてキリストご自身の名によってすら、聖性と信仰を信じて探し求める人々を傷つけたこと、
 - ・ かたくなさ、高慢さ、傲慢さによって、神の教会の中に、また神の子どもたちの間に分裂と争いを引き起こしたこと、
- これらの罪を、わたしたちは今、悔い改めます。

憐れみによって、聖なる霊を、秩序と慰めの霊を送ってください。すべての不正義からわたしたちを清め、真理と平和と調和をもたらすキリストへのまことの信仰をわたしたちの中に回復してください。そしてわたしたちの主イエス・キリストの平和のうちに、御名の栄光のために兄弟姉妹と共に歩むことができるよう、助けをお与えください。アーメン